

医学研究に関する情報公開および 研究協力へのお願い

福井大学医学部附属病院地域医療連携部では、医学系研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の医学研究を実施しています。

こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

ご自身の情報や試料を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。研究への参加を希望されない場合、研究結果の公表前であれば、研究期間内にご連絡いただいた時点より対象から除外いたします。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

平成 29 年 2 月 22 日 福井大学医学部附属病院 地域医療連携部

【研究課題名】

地方拠点病院における HIV サテライト相談会開催の意義
ー参加者に対する効果と不参加者の要因を分析してー

【研究期間】

平成 29 年 2 月 22 日～平成 29 年 3 月 31 日

【研究の意義・目的】

近年、医学の進歩は著しく、HIV 感染症は死の病ではなく、長期療養を必要とする慢性病となりました。その変化は HIV 患者さんに対する支援の在り方にも影響しています。今までは医療的観点と個人の発達の観点が主でしたが、これからはそれに加えて心理社会的な観点からのアプローチが必要となってきました。外来診療の中である患者さんから「仕事帰りに病気について安心して話せる場が欲しい」と提案されました。通院間隔が数ヶ月に一度の長期療養患者さんが、診療日以外に来院するのは困難なことが多いです。このような患者さんは、通院治療は安定していても偏見を恐れて勤め先などには病のことを隠している場合が多く、精神的に不安定になることもあります。また、長期療養中

の患者さんだけでなく、まだ抗ウイルス治療(ART)が開始前、CD4 リンパ球数の低下を認めず、経過観察のために3,4ヶ月に1度来院するだけの若年患者さんは健康に関する意識が薄く、自分を守ることも自分が感染源となることについても深く考える機会が少ないです。多くの若年患者は孤独感が強く不安定で、数回で通院が途絶えた人もいます。

このような状況を受け、仕事帰りの平日の夜に外来患者さんおよびそのご家族が、気軽に治療や薬、仕事、心理・経済的な相談ができる場所が必要と考え、当院が中心となって、HIV サテライト相談会を開催しました。なお、事業の実施にあたっては、北陸 HIV 情報センターおよび福井県 HIV・エイズ患者サポート事業の助成を受けました。

今回、HIV サテライト相談会開設からこれまでの4年間の活動を振り返り、活動の分析と不参加者の要因を明らかにしたいと考えます。

なお、HIV サテライト相談会の活動をまとめることは、今後の相談会の改善につながり、ひいては福井県における HIV 陽性者支援の参考になると考えます。

【研究の内容】

1. 研究の対象となる方

平成 24 年 10 月 1 日から平成 28 年 2 月 29 日までの期間に福井大学医学部附属病院外来へ HIV 陽性者として通院された方

2. 研究に用いる試料・情報

患者背景:年齢、性別、性指向、国籍、感染経路、相談内容内訳、相談担当者の職種と参加回数、参加者の転帰、不参加の理由などの情報を収集します。

3. 研究の方法

2012 年 10 月から 2016 年 2 月に開催した HIV サテライト相談会の「実施報告書」のデータを分析します。また、参加者 6 名及び不参加者に対し、外来通院時に面接によるアンケートを実施し、回答を得ます。外来受診機会の無い患者さんに対しては、電話での聞き取り調査を実施します。

【利益相反について】

利益相反とは、外部との経済的な利益関係(資金提供など)によって、研究

データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないのではないか(企業に有利な結果しか公表されないのではないか)と第三者から懸念されかねない事態のことをいいます。

この研究は、特定の企業や団体から研究資金や給与・謝金など、特別な便宜を受けていないことを福井大学臨床研究利益相反審査委員会に全て報告し、利益相反状態でないと判定されています。研究を公正に遂行し、対象となる方に不利益になることや、研究結果を歪めるようなことは一切いたしません。

【研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手・閲覧方法】

本研究では、研究計画書及び研究の方法に関する資料に関しては、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り入手又は閲覧が可能です。その入手・閲覧をご希望される際には下記「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

【個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先】

本研究で利用する試料・情報からは、お名前、住所など、直接ご本人を同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。取り扱う情報は厳密に管理し、漏洩することはありません。なお、保有個人情報の利用目的等に関して、詳細をお知りになりたい場合は下記「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

【個人情報の開示等に関する手続き】

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
《福井大学における個人情報保護について》

http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/corporate/privacy/

【研究責任者】

三嶋一輝 地域医療連携部 主任医療ソーシャルワーカー

【本研究に関する問い合わせ窓口など】

○問い合わせ窓口

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部附属病院 地域医療連携部

電話:0776-61-3111(内線:3192)

FAX:0776-61-8150(専用)

E-mail:kazkim@u-fukui.ac.jp

受付時間:平日 8:30~17:15(年末年始、祝・祭日除く)

○ご意見・苦情窓口

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部附属病院医学研究支援センター

電話:0776-61-8529

受付時間:平日 8:30~17:15(年末年始、祝・祭日除く)